

# PLAN AN ART TOUR



# あなたたちは 美術館員です

- ▶あなたは大塚国際美術館で働いています
- ▶チームで動きます  
メンバーは冊子で確認を
- ▶”個々に合わせたArt Tour”を作ること
- ▶9:30～12:00で見て回れるツアーにすること
- ▶”オススメの1枚/展示”を必ず伝えること
- ▶お客さん(ターゲット)は  
全て外国人なので英語で説明すること



# ループリック

冊子p2

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
1	<p>疑問・課題を見出すことができる</p> <p>課題解決に必要な仮説を立てることができる</p>	<p>以下の2点を満たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている</li> <li>・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている</li> </ul>	<p>以下のどちらか1点を満たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている</li> <li>・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている</li> </ul>	<p>以下のどちらも満たしていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている</li> <li>・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている</li> </ul>
16	<p>成果物を使って共感を得る発表をすることができる</p>	<p>ほぼよどみなく話すことができている、内容を理解した上で自然な間を取ることもできている。また、抑揚や発音が全体を通じて自然であり、理解しやすい。</p>	<p>早すぎたり遅すぎたりして、自然な間をとることがややできていない。あるいは、抑揚や発音が一部理解しづらいところがある。</p>	<p>早すぎたり遅すぎたりして、自然な間をとることがほぼできていない。あるいは、抑揚や発音が全体的に理解しづらい。</p>

# ループリック

冊子p2

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
1	疑問・課題を見出すことができる 課題解決に必要な仮説を立てることができる	以下の2点を満たしている。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている	以下のどちらか1点を満たしている。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている	以下のどちらも満たしていない。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている

- ・デザイン思考は他者へ共感することを起点／出発点にして課題発見／解決を行う考え方
- ・不特定多数の一般大衆をターゲットにするのではなく、誰か特定の人を想定してその人を満足させるアイデアを提案
- ・個人探究ではSEIKAI6.1かデザイン思考のどちらかを選び実験や分析を行う

# お客様の情報はこちら

- ▶ターゲットの情報はgoogle classroomにもアップしています
- ▶どのターゲットにプランを勧めるかはすでに決まっています

# Oliver Evans

information

- 鳥取市に住むイギリス人留学生。
- 鳥取大学の2年生の男性で、歴史学を専攻。一人暮らし。日本滞在歴はまだ1年。
- 夏休みに男友達と2人で大塚国際美術館に行きたい。
- 週末にはひたすら歩いて色々なお寺を見て回る。この時に今回一緒に旅行に行く友達もよく付き合ってくれる。古い建物や文化・時代を感じさせる建物が好き。
- 趣味は静かな場所でゆっくり読書をする事。特に推理小説が好き。



# Chloe Fuller

## information

- 鳥取市の公立中学校に勤めるALTの女性。
- アメリカ・カリフォルニア州出身の35歳。未婚。日本滞在歴は5年目。
- 大塚国際美術館には春休みを利用して行く予定。
- 趣味は映画鑑賞とデッサン。映画はファンタジー系の冒険ものが好き。
- デッサン歴は20年ほど。人物画を描く方が好きだが、色塗りはまだ苦手。



# Josh Graves Jessica Graves

information

- 鳥取に住む夫婦。夫は71歳、妻は66歳。ともにニュージーランド出身。
- 日本滞在歴は20年目。日本語はかなり流暢。
- 夫婦で会社を経営していたが、今は引退。週末は色々な骨董品店をめぐるのが趣味。
- ふたりの初デートは美術館。このため、結婚40周年の記念に、紅葉の綺麗な秋の時期に大塚国際美術館に行きたい。
- 夫の趣味はガーデニング。妻の趣味は料理。庭で取った新鮮な野菜を使って毎日妻が夕飯を作っている。



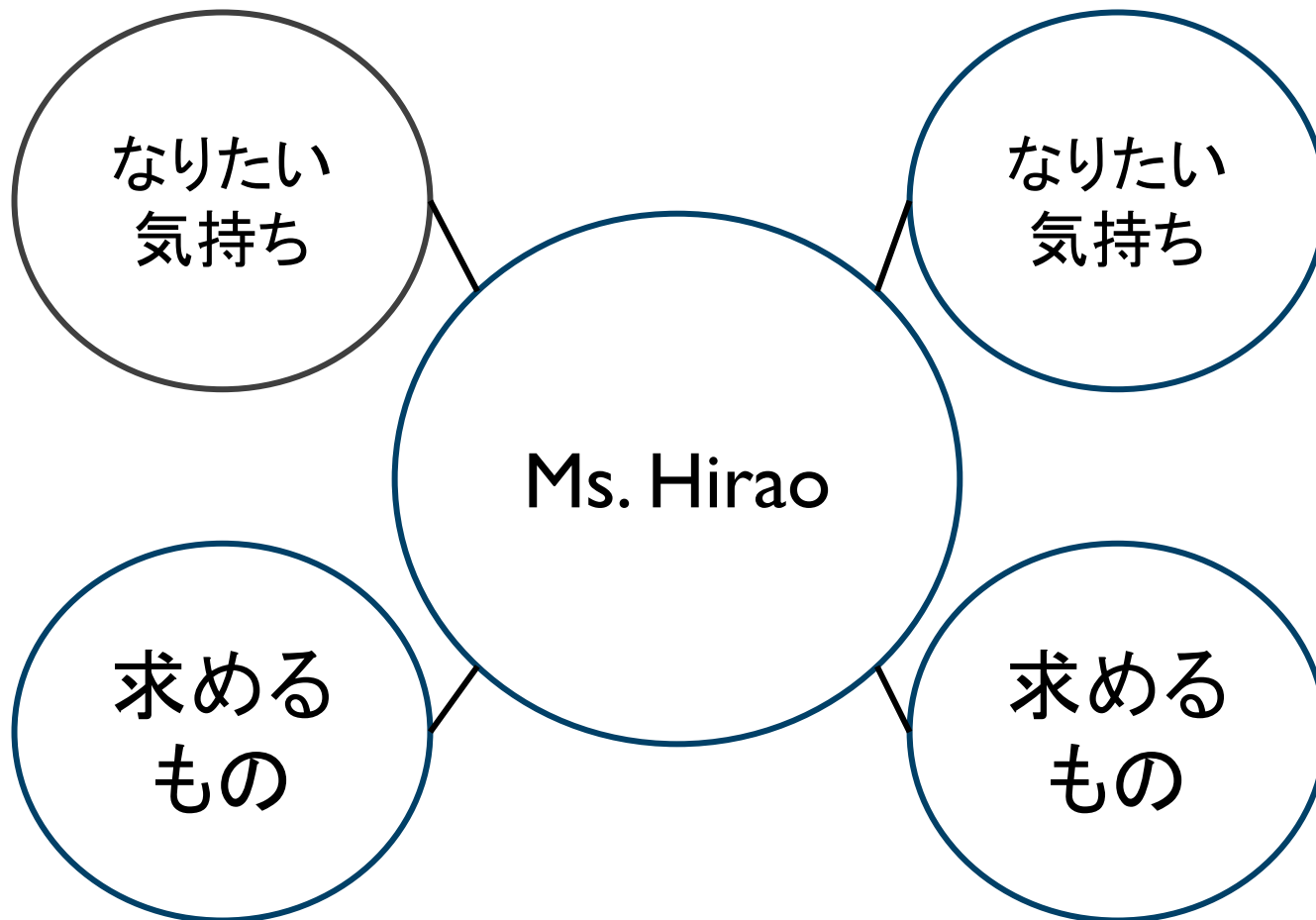


# マインドマップで アイデア出し

- ▶それぞれどんな気持ちになりたい  
何を求めているのかな
- ▶どんな絵／展示があれば  
気に入ってもらえそうかな
- ▶マインドマップは冊子3ページにメモしよう

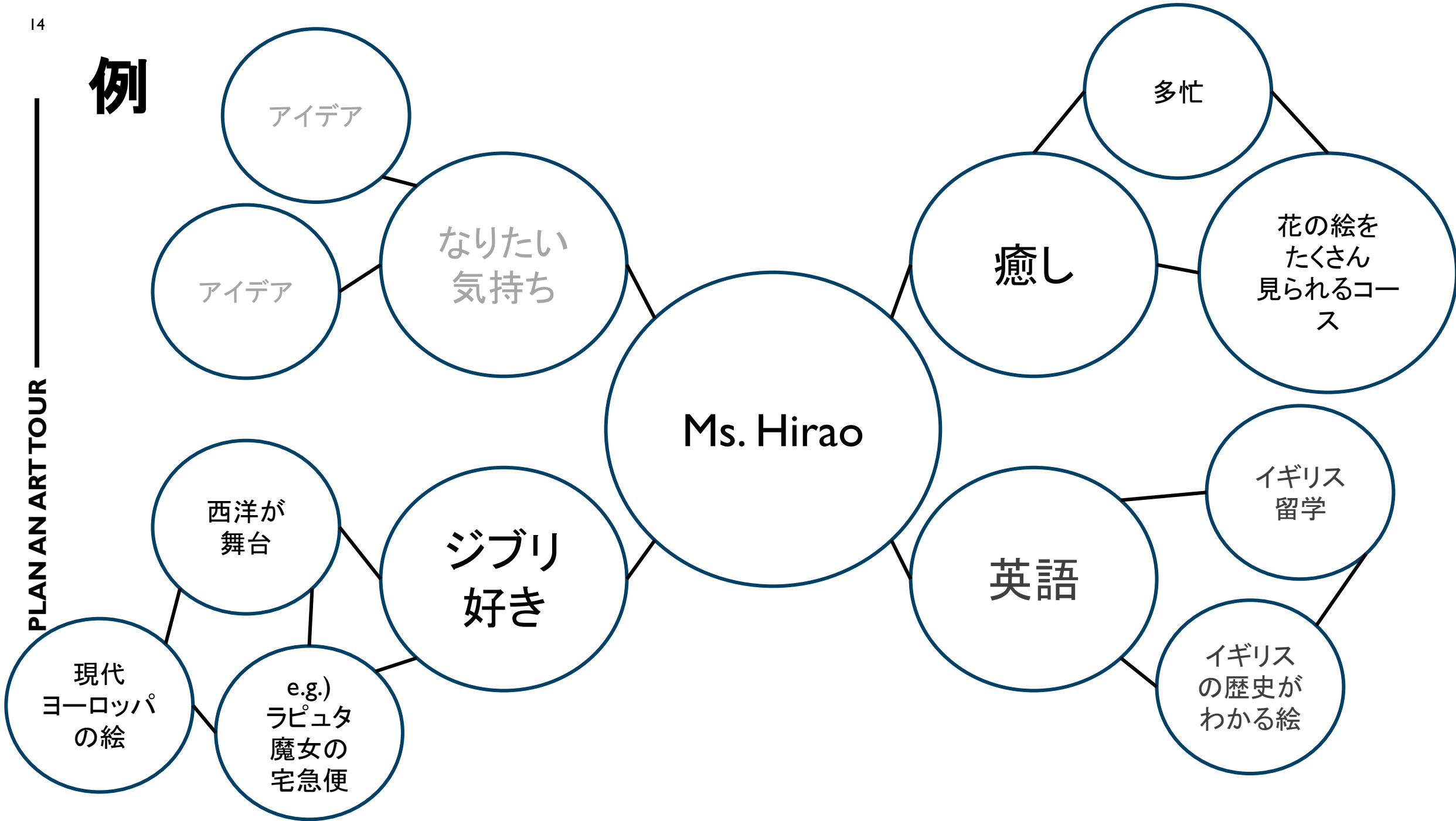


# 例



# 例

PLAN AN ART TOUR



# 実際の美術館の フロアマップ



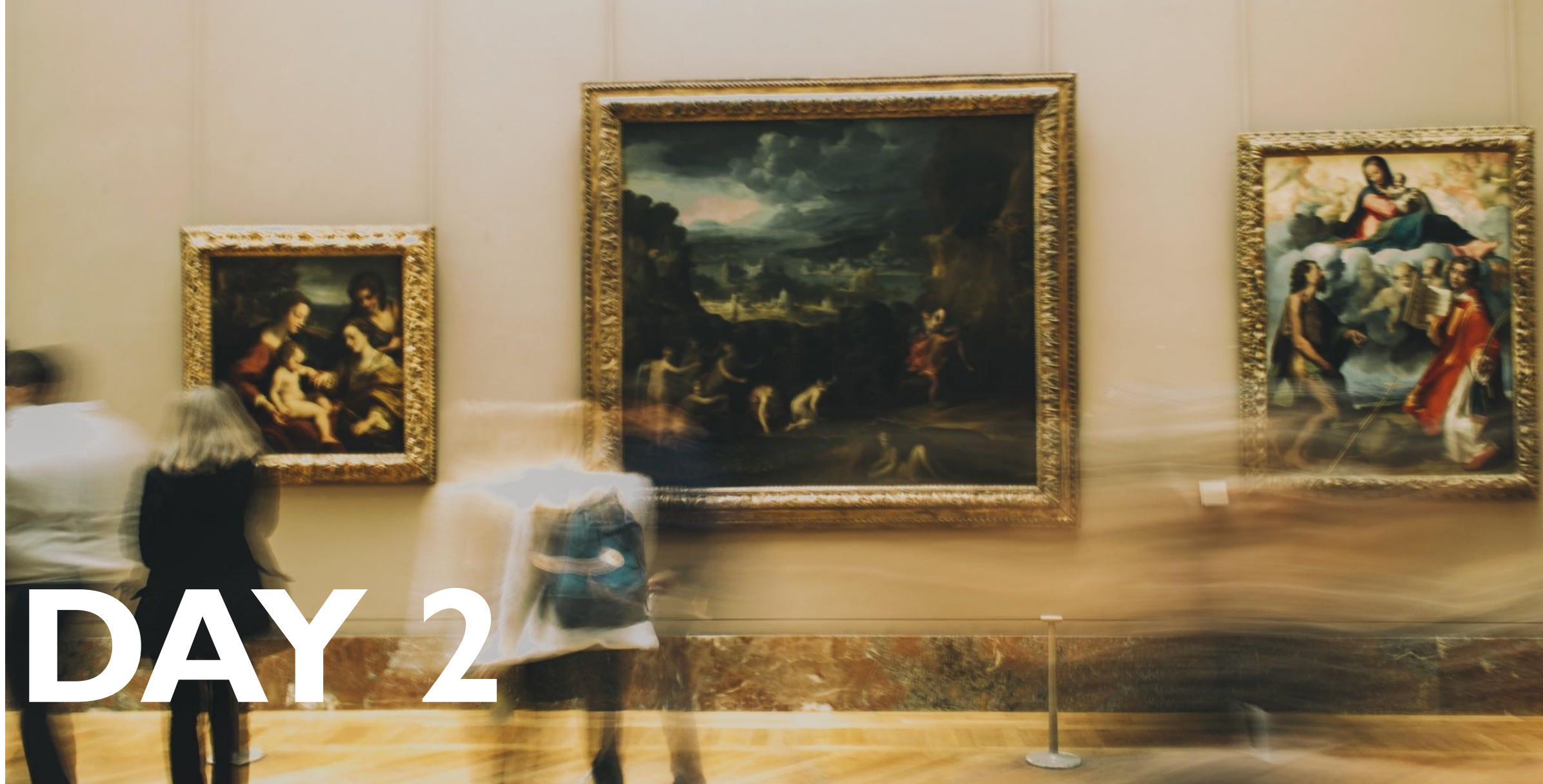
- ▶どこにどんな絵／展示物があるのかフロアマップで確認しよう
- ▶1人が1つの場所(ルート)の説明を担当する
- ▶9:30～12:00で見て回れるツアーにすること
- ▶ターゲットがどんな気持ちになりたいのか・何を求めているのか説明すること
- ▶各ルートで'オススメの1枚/展示'を必ず伝えること



参考文献:「フロアマップ」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/publics/index/424/> (2023年12月4日参照)

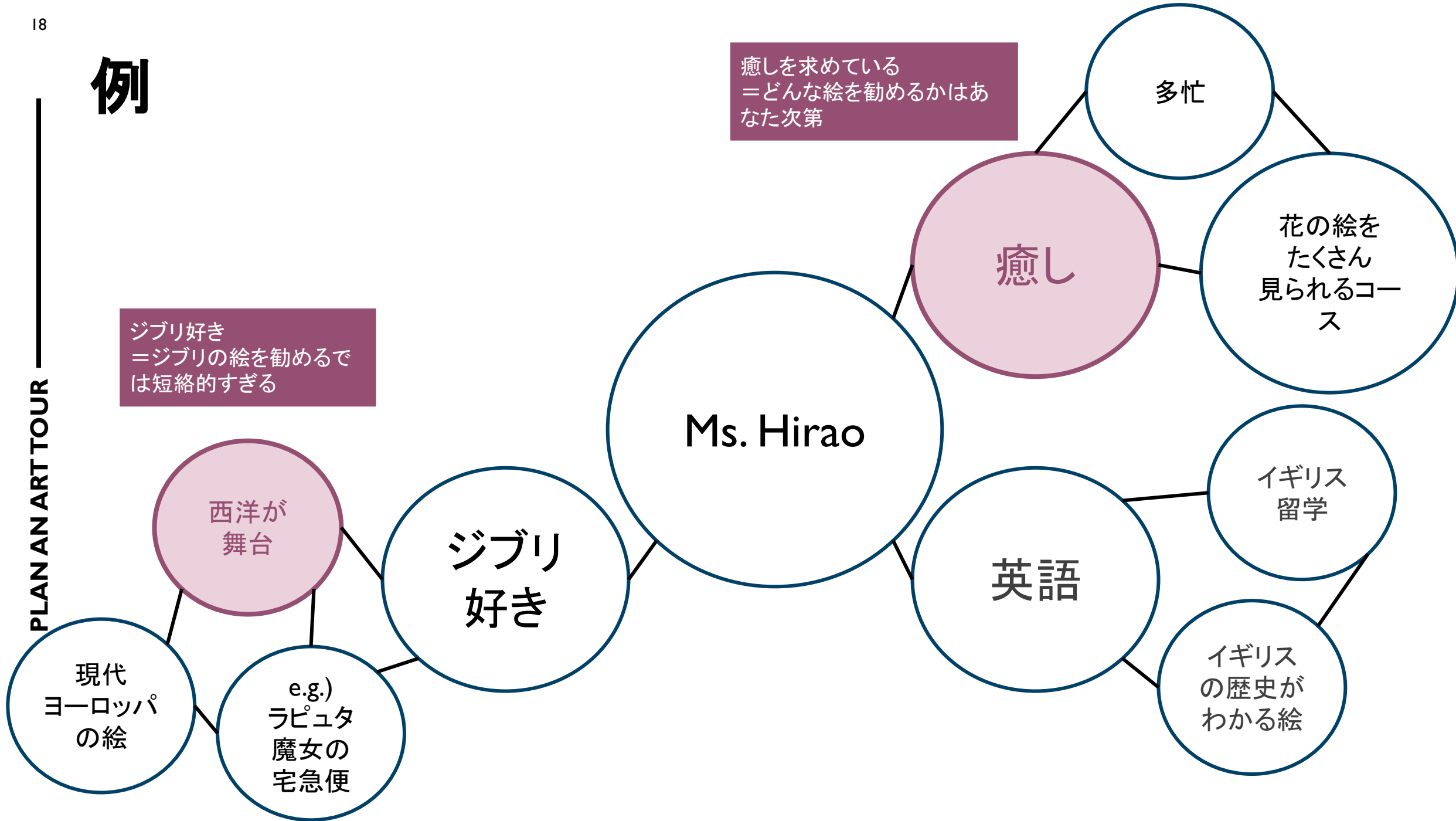
引用図版:「フロアマップ(PDF)」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/files/libs/31410/202308270901477474.pdf> (2023年12月4日参照)

冊子を回収します



# DAY 2

## 例



# ルートを考えよう



- ▶どこにどんな絵／展示物があるのかフロアマップで確認しよう
- ▶1人が1つの場所(ルート)の説明を担当する
- ▶9:30～12:00で見て回れるツアーにすること
- ▶ターゲットがどんな気持ちになりたいのか・何を求めているのか説明すること
- ▶各ルートで”オススメの1枚/展示”を必ず伝えること
  - スライドにはオススメの1枚/展示の写真があった方が良い(著作権は教育目的のため一時的に免除)
- ▶どういう順番で説明するか決めよう
- ▶誰がどのルートを説明するか決めよう



参考文献:「フロアマップ」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/publics/index/424/> (2023年12月4日参照)

引用図版:「フロアマップ(PDF)」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/files/libs/31410/202308270901477474.pdf> (2023年12月4日参照)



# 資料を活用しよう

## ▶フロアマップ

展示番号と大まかな展示品がわかる

- ①環境展示(古代遺跡や教会などの壁画を空間ごと再現)
- ②系統展示(古代・中世・ルネサンス・バロック・近代・現代の時代ごとに展示)
- ③テーマ展示(時代を超えてテーマごとに展示 e.g.家族)



## ▶展示作品リスト

作品番号・作家名・作品名などの細かな情報がわかる

写真は載っていないためどんな作品なのか視覚的に知りたい場合は検索する必要あり

展示番号	作家名	作品名
1	古代遺跡	古代遺跡
2	ルネサンス	ルネサンス
3	バロック	バロック
4	近代	近代
5	現代	現代
6	家族	家族
7	家族	家族
8	家族	家族
9	家族	家族
10	家族	家族
11	家族	家族
12	家族	家族
13	家族	家族
14	家族	家族
15	家族	家族
16	家族	家族
17	家族	家族
18	家族	家族
19	家族	家族
20	家族	家族
21	家族	家族
22	家族	家族
23	家族	家族
24	家族	家族
25	家族	家族
26	家族	家族
27	家族	家族

引用図版:「展示作品リスト(PDF)」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/files/libs/29093/202304151030132038.pdf>(2023年12月12日参照)  
「フロアマップ(PDF)」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/files/libs/31410/202308270901477474.pdf>(2023年12月4日参照)



# 発表スライド例

発表担当者のクラス・番号・名前▶

Class B No.0 Mikiko Hirao

# B3: Feel an European atmosphere and see churches

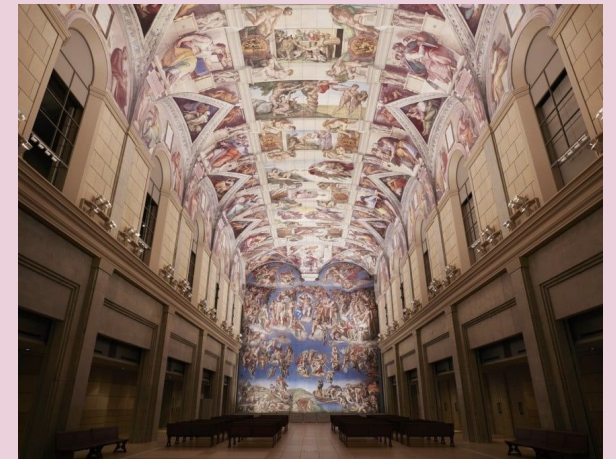
◀何階・簡単なテーマ

- ▶ You must love English culture and a European atmosphere
- ▶ Europe has many churches and cathedrals
- ▶ Recommend:

Sistine Hall

▲ターゲットが求めるもの  
何を勧めるのか  
特にオススメの1枚／展示

展示物の写真▶



引用図版:「開館10周年記念事業」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/publics/index/49/> (2023年12月12日参照)

◀写真の引用元  
(可能であれば)

# 発表原稿例

Hello, Ms. Hirao. Welcome to Otsuka Museum of Art. This is our art tour we made for you.

▼ターゲットが求めるもの・どんな気持ちになりたいのか

We know that you're an English teacher. **So you must love English culture and a European atmosphere.** As you know, there are many churches and cathedrals in European countries, so we would suggest you to start your tour on the 3rd floor of the basement. You can feel an European atmosphere by looking at the churches such as St. Nicolas Orphanos and St. Martin. **I personally recommend you to go to Sistine Hall. The Sistine Hall is huge and you will be impressed by all of the paintings on the ceiling.**

▲特にオススメの1枚／展示



# スケジュール確認

- 12/12 (Tue) アイデア・ルートを考える  
班メンバーがどのルートについて説明するか決定  
“オススメの1枚/展示”を調べる
- 12/13 (Wed) アイデア・ルートの確定  
“オススメの1枚/展示”の確定
- 12/14 (Thur) 発表原稿(英文)を作成  
スライドを作成  
\*この日は2コマ連続です\*
- 12/15 (Fri) 発表原稿(英文)が完成  
音読練習(タグ16)
- 12/18 (Mon) スライドに音声吹き込み→発表動画をアップロード  
自己評価・フィードバック

冊子を回収します



# DAY 3

# ルートを 確定させよう



- ▶どこにどんな絵／展示物があるのかフロアマップで確認しよう
- ▶1人が1つの場所(ルート)の説明を担当する
- ▶9:30～12:00で見て回れるツアーにすること
- ▶ターゲットがどんな気持ちになりたいのか・何を求めているのか説明すること
- ▶各ルートで”オススメの1枚/展示”を必ず伝えること
  - スライドにはオススメの1枚/展示の写真があった方が良い(著作権は教育目的のため一時的に免除)
- ▶どういう順番で説明するか決めよう
- ▶誰がどのルートを説明するか決めよう



参考文献:「フロアマップ」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/publics/index/424/> (2023年12月4日参照)

引用図版:「フロアマップ(PDF)」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/files/libs/31410/202308270901477474.pdf> (2023年12月4日参照)





# スケジュール確認

**12/13 (Wed) アイデア・ルートの確定**  
**“オススメの1枚/展示”の確定**

12/14 (Thur) 発表原稿(英文)を作成  
スライドを作成  
\*この日は2コマ連続です\*

12/15 (Fri) 発表原稿(英文)が完成  
音読練習(タグ16)

12/18 (Mon) スライドに音声吹き込み→発表動画をアップロード  
自己評価・フィードバック

冊子を回収します



# DAY 4

# 発表原稿を 作成しよう

- ▶ 冊子4ページに英作文を書こう
- ▶ ターゲットがどんな気持ちになりたいのかor  
何を求めているのか説明すること
- ▶ 各ルートで”オススメの1枚/展示”を  
必ず伝えること
- ▶ Deep Lやgrammarlyを  
それぞれのレベルに合わせて使ってもOK
- ▶ 英文が完成してからスライド作成に移ること



# スライドを作成しよう

- ▶google classroomから共有されているリンクを開き  
各グループのフォルダに入りましょう
- ▶スライドをフォーマットに沿って完成させましょう
- ▶スライドは1人1枚  
それ以上増やさないこと

2

Class B No.0 Mikiko Hirao

## 場所：タイトル

どんな気持ちになりたいのかor何を揉めているのか  
だから何を見せたいのか・案内したいのか  
特にオススメの1枚/展示



実際の作品の写真

引用図版：「開館10周年記念事業」『大塚国際美術館』<https://o-museum.or.jp/publics/index/49/>（2023年12月12日参照）

# ループリック

冊子p2

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
1	疑問・課題を見出すことができる 課題解決に必要な仮説を立てることができる	以下の2点を満たしている。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている	以下のどちらか1点を満たしている。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている	以下のどちらも満たしていない。 ・ターゲットがどのような気持ちになりたいのか・何を求めているのかを説明できている ・自分たちのオススメする絵/展示物がいかにその要求を満たすものなのかを説明できている

**ループリックで評価がAになる内容が必ず確認しよう**



# スケジュール確認

- 12/14 (Thur) 発表原稿(英文)を作成  
スライドを作成
- 12/15 (Fri) 発表原稿(英文)が完成  
音読練習(タグ16)
- 12/18 (Mon) スライドに音声吹き込み→発表動画をアップロード  
自己評価・フィードバック

# 冊子を回収します

▶次回で英作文を完成させます





# DAY 5

# 英文を完成させ読み練習をしよう

▶せっかく英語で発表するので、流暢さや発音などでELTSのスピーキングの採点基準に見合った発表をしよう。

タグ	観点（到達目標）	A	B	C
16	成果物を使って共感を得る発表をすることができる	ほぼよどみなく話すことができおり、内容を理解した上で自然な間を取ることもできている。また、抑揚や発音が全体を通じて自然であり、理解しやすい。	早すぎたり遅すぎたりして、自然な間をとることがややできていない。あるいは、抑揚や発音が一部理解しづらいところがある。	早すぎたり遅すぎたりして、自然な間をとることがほぼできていない。あるいは、抑揚や発音が全体的に理解しづらい。

# 発表本番について

Advancedクラス	Standardクラス
Group A@高1A	Group G@LC
Group B@高1B	Group H@LC
Group C@小ゼミRed	Group I@LC
Group D@小ゼミYellow	Group J@LC
Group E@小ゼミGreen	Group K@プレゼン
Group F@小ゼミBlue	Group L@プレゼン

- ▶googleスライドを表示し画面録画をしながら音声吹き込み or それぞれで音声録音してiMovieで合体  
どちらの方法を取るかはお任せしますが提出まで35分以内で行うこと

The background of the slide features three classical paintings displayed in a gallery. The painting on the left is a religious scene with several figures. The central painting is a large, dark landscape with a dramatic sky and figures in the foreground. The painting on the right is a religious scene with a central figure and others around them.

# スケジュール確認

- 12/15 (Fri) 発表原稿(英文)が完成  
音読練習(タグ16)
- 12/18 (Mon) スライドに音声吹き込み→発表動画をアップロード  
自己評価・フィードバック

# 冊子を回収します

▶次回が本番です



# DAY 6

# それぞれの場所で録音 & 提出

Advancedクラス	Standardクラス
Group A@高1A	Group G@LC
Group B@高1B	Group H@LC
Group C@小ゼミRed	Group I@LC
Group D@小ゼミYellow	Group J@LC
Group E@小ゼミGreen	Group K@プレゼン
Group F@小ゼミBlue	Group L@プレゼン

- ▶googleスライドを表示し画面録画をしながら発表 or それぞれで音声録音してiMovieで合体  
どちらの方法を取るかはお任せしますが提出まで35分以内で行うこと
- ▶録音 & 提出を終わらせ冊子を持って14:45にプレゼンに集合。自己評価を行います。

# 自己評価をしましょう

- ▶ 提出した成果物の出来はどうか？  
今回はグループで成果物を作成しましたが、  
自分が担当したスライド・音読した音声のみを評価対象とし、  
**個人評価として提出してください。**
- ▶ 冊子を回収します。

## 最後に

- デザイン思考はユーザー視点になって問題の発見から解決アイデアまでを実践する思考法  
アート思考は直感的に自分の好き・嫌いで考える方法
- ▶ 直感的なので必ずしもロジカルではなく、解決アイデアにならないこともある  
独自の発想ができることがメリット